令和３年度第２回印西市文化財審議会会議録

**１．開催日時**　令和４年３月１５日（火）午後２時～午後３時

**２．開催場所**　印西市役所 ４１会議室

**３．出席者**　一島委員、滋賀委員、横山委員、酒井委員、西山委員、富田委員

**４．欠席者**　岡崎委員、髙橋委員、石井委員

**５．傍聴者**　０名（定員５名）

**６．事務局**　生涯学習課　鈴木課長、石川、根本

**７．会議内容**（すべて公開）

　　　１．開会

　　　２．課長あいさつ

　　　３．議題

　　　　　（１）令和３年度事業報告について

　　　　　（２）令和４年度事業計画（案）について

　　　４．その他

　　　５．閉会

**８．会議録**

１、２及び３　開会、課長あいさつ、会長あいさつ

４．議事

1. 令和３年度事業報告について

≪事務局説明≫

資料をもとに令和３年度事業報告を説明

≪委員意見≫

委員：小林ドンゲ作品の寄贈を受けた経緯はどのようなものか。

⇒委員：佐倉市美術館の学芸員の方が小林ドンゲについて精力的に検証されており、企画展も開催されている。私の専門が版画であることと、千葉市美術館と佐倉市美術館が交流があったという経緯から、作品の寄贈を受けるという話になったものである。

　事務局：次年度の計画案でも説明する予定であったが、文化ホールの市民招待席において来年度の4月23日から5月5日まで展示をする予定となっている。

会長：他に意見がなければ、令和３年度事業報告について承認いただく方は挙手をお願いしたい。

全員挙手　令和３年度事業報告承認

1. 令和４年度事業計画（案）について

≪事務局説明≫

資料をもとに令和４年度事業計画（案）を説明

≪委員意見≫

委員：印旛歴史民俗資料館には常駐の職員はいるのか。

⇒人数は少ないが学芸員と再任用の職員で運営している。休館日が月曜日で、それ以外は9時から17時まで開館している。主に考古資料と民具の展示が主体となる。

委員：仏師賢光の薬師如来もそこにあった気がするがまだあるのか。

⇒収蔵庫で保管している。

委員：木下交流の杜歴史資料センターで実施している貝化石の分類作業について、どのような成果がでているか。

⇒寄贈を受けてから、これまで市では内容について正確に把握していなかったが、今年度先生方に調査していただき、資料の総量と内容についての概略を把握することができた。今後は詳細な分類作業を行っていく予定となっている。

委員：宝珠院観音堂の茅葺屋根の葺き替えについて、9月から実施するということであったが、これは２ヵ年度の計画なのか。

⇒単年度事業である・

委員：その場合、期間内に間に合うのか。

⇒現在老朽化しており、一部ブルーシートによる養生を行い対応している。また、作業に支障があるまわりの枝についても今年度伐採作業を行った。9月の工事開始について、資材の調達の関係もあると聞いている。今回は全面葺き替えということもあり、大量のカヤが必要となる。また、施工に関しては、文化財建造物保存技術協会に設計をお願いしており、工期についても問題ないと回答をもらっている。

委員：歴史文化施設の基本計画について、予定地や規模等、詳細が分かれば教えてほしい。

⇒詳細については、今後基本計画を策定する中で検討していくことになるが、印西市は現在、木下交流の杜で約500㎡、歴史民俗資料館で約500㎡といった小規模な展示施設のほか、歴史資料保管庫の3か所の施設がある。合併して今年で10年以上たつが、考古資料や歴史資料、民俗資料が分散したままで保管されており、非常に活用しづらい状況になっている。また、収蔵施設についても手狭になってきている。この度令和4年、5年度にかけて基本計画を策定し、資料の収集・保存、維持・管理、教育・普及の機能を備えた施設について検討を進めていきたいと考えている。具体的には、考古資料や歴史資料、美術資料などが展示できる、博物館あるいは郷土資料館といった施設を想定している。印西市には現在そのような体系的な施設は存在しないため、ようやくそのような議論ができる状況になったため、さらに検討を進める中で、委員の皆様より意見をいただきたいと考えている。新設の博物館については、近隣では近年の事例がないため、先進地の視察等を行いながら、皆様より意見をいただきたい。

事務局：施設の整備自体は費用と期間がかかるが、実現は可能と考えている。ただ、印西市にとってどのような機能をそなえた施設がふさわしいのか、どのような方向性をもって整備を行うかについて悩んでいる。単純に施設を作って展示室を作っても、将来的に来館者の確保は困難であると思われる。観光施設を取り入れたものが良いか、公民館的な機能を取り入れた方がよいのか、まちづくりの拠点となるような機能が必要となるのか、来年度プロポーザルを行って企業を選定し、検討していくこととなる。

委員：印旛高校跡地については、立派な施設となっており、木下貝層の展示なども行っている。そちらにも職員は配置されているのか。

⇒職員は配置されているが、施設の主な業務は市史編さんとなる。

委員：眺めもいいし、立地も良いので、活用してもらえると良いのではないか。

⇒市の公共施設整備計画の中では、印旛歴史民俗資料館が老朽化しているため、木下交流の杜歴史資料センターに集約化を行うとなっている。それと並行して歴史文化施設の計画を進めていきたい。交流の杜は景観は良いが、面積が少し狭いといった問題もあり、用地の問題も含めて検討していきたい。

委員：市史編纂事業についても諮問組織はあるのか。

⇒市史編さん委員があり、年に3回ほど実施している。

委員：歴史民俗資料館について、老朽化しているとのことだが、将来的に集約するだけではなくて、資料館は資料館で継続していくのか。

⇒計画では集約化ということで、資料館は閉館という形で考えている。建て替えという話もあるが、進入路や土地の賃借関係など課題があり、移転という方向で考えている。

委員：小林ドンゲの作品展について、広報はどのように行う予定であるか。

⇒市のホームページや広報誌、各公民館等にポスター・チラシを掲示する予定である。

委員：印西市も人口が増加しており、文化的な事柄に関心をもつ人が増えていると思われる。そういった中で、木下交流の杜広場はうまく活用できるのではないかと考える。

事務局：無形民俗文化財の公開事業に関して、ここ2年中止ということで、保存会の方々も苦労されていると聞いている。事務局としては、今後とも継承していけるのかと危惧している。今のところは各保存会から具体的な話は上がっていないが、コロナの収束の見通しが立っておらず、今後良い方法があれば教えていただきたい。

⇒委員：浦部の神楽は昔、永治小学校で子供たちに教えていたが、廃校になってしまった。合流した新しい学校では、神楽などはなかなか教えることも難しく、継承というのは大変難しいと思われる。コロナが収束し、また元のようにできるのが望ましい。

会長：他に意見がなければ、令和３年度事業計画（案）について承認いただく方は挙手をお願いしたい。

全員挙手　令和４年度事業計画承認

1. その他

特になし

５．その他

事務局より

1. 第2期印西市教育振興基本計画について
2. 次期会議開催時期について 令和４年７月頃を予定

５．閉会

会議資料

次第、令和３年度事業報告について、令和４年度事業計画（案）について、

【資料１】小林ドンゲ作品受領一覧、【資料2】第2期印西市教育振興基本計画

　令和３年度第２回印西市文化財審議会会議録は、事実と相違ないことを承認する。

　　　令和４年３月２９日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印西市文化財審議会委員

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　横　山　謙　次